

発議案第1号

北朝鮮による弾道ミサイル発射に断固抗議する決議について

北朝鮮による弾道ミサイル発射に断固抗議する決議を別紙のとおり行う。

平成28年2月29日

提出者	上越市議会議員	江口修一
賛成者	同	石田裕一
	同	杉田勝典
	同	笹川栄一
	同	宮崎政國
	同	上野公悦
	同	柳沢周治
	同	内山米六
	同	永島義雄
	同	石平春彦

北朝鮮による弾道ミサイル発射に断固抗議する決議

去る2月7日、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）は、「人工衛星」の打ち上げと称して、事実上の弾道ミサイルの発射を強行した。

本年1月6日の核実験の実施に引き続き、この度重なる挑発的行為は、我が国を始めとした関係諸国、そして国際社会が、これまで北朝鮮に対し、一連の国連安全保障理事会決議等の完全な遵守を求め、核実験の実施や弾道ミサイルの発射等の行為を行わないよう強く求めてきたことに明らかに反するものであり、我が国を始め、アジア・太平洋地域の平和と安全を脅かすのみならず、国際社会全体に極めて深刻な危機を及ぼし、かつ、重大な不安を与える許しがたい暴挙であり、断じて容認することはできない。

よって、上越市議会は、世界の人々との友好の絆を強め、すべての国のあらゆる核兵器が速やかに廃絶され、恒久平和が確立されることを強く願う「非核平和友好都市宣言」を議決した議会として、これらの暴挙に対し断固抗議し、強く非難する。

また、日本政府においては、我が国の平和と安全の確保、国民の安全安心に万全を期し、引き続き国際社会と連携・協力のもと、北朝鮮に対して核兵器の放棄、弾道ミサイル開発の断念、拉致問題の早期解決を求めるなど、毅然とした措置を講じるよう強く要望する。

上記決議する。

平成28年2月29日

上 越 市 議 会